

トヨタ紡織、「Crystal Cabin Award 2021」 ファイナリストに選出

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：沼 毅）は、このたび、Crystal Cabin Award 2021(クリスタルキャビンアワード) のファイナリストに選出されました。この賞は、Crystal Cabin Award 協会が主催し、航空機用の優れた製品やインテリアデザインに贈られるものです。航空機インテリアデザインにおいて、唯一の国際的表彰で、乗客の快適性を大幅に向上させることを目的に、2007年に創設されました。

今回対象となったのは、2つのカテゴリーのうち、Judges' Choice Award (ジャッジチョイス) 部門で、当社応募の2案がファイナリストに選定されました。なお、アワード受賞はファイナリストの中から選考され、9月15日開催の Virtual Aircraft Interiors Expo にて発表されます。

<今回ファイナリストに選出された当社提案>

1) クラウドカプセルコンセプト

窓側席の頭上にカプセルベッドを設置することで、エコノミークラスの乗客が、より安全で、楽しく、快適に機内で過ごすことができる提案。プライベートな空間でリラックスしたり、仕事に集中したりすることが可能です。



2) ポジティブリーエコノミーコンセプト

一つの客室に3つのサービスクラスを配置した提案。窓側にはエコノミークラス座席、中央にはプライベート性の高いプレミアムエコノミーとプレミアムエコノミープラス座席を配置し、プレミアム席全席が通路に面したレイアウト。また、機内食の配膳はロボットが行うなど、近未来を想像させる提案も織り込まれています。



Crystal Cabin Award 2021 Finalist のロゴ



以上